

## 第15期（2019年度） 事業報告書

社会福祉法人ヤマト自立センターは、障がい者の自立と社会参加を目的に2019年度事業計画に基づき、スワン工舎として就労移行支援事業ならびに就労定着支援事業を就業・生活支援センターと連携して就労支援を推進いたしました。

### 1. 本部活動

- [1] 2019年5月17日 理事会開催  
(2018年度事業報告)  
(2018年度計算書類の承認)  
(評議員候補者選定ならびに評議員選任・解任委員会開催の承認)  
(定時評議委員会開催の承認)
- [2] 2019年6月12日 理事会開催  
(役員候補者の選定)
- [3] 2019年6月20日 理事会および定時評議員会開催  
(評議員選任・解任委員選任の承認)  
(2018年度計算書類の承認)  
(役員選任の承認)
- [4] 2019年7月16日 理事会開催  
(理事長および業務執行理事選定の承認)
- [5] 2019年12月16日 理事会開催  
(就業規則、パート職員就業規則変更の承認)
- [6] 2020年3月18日 理事会開催  
2020年度事業計画の承認  
2020年度資金収支予算および事業活動予算の承認

### 2. 施設活動

スワン工舎新座では、就労支援活動において、就業・生活支援センターとの連携による相乗効果を発揮した（新座利用者2名獲得）また、定着支援においても就業・生活支援センターとの業務連携により、安定かつ効率的な支援を推進した。加えて6年目を迎えたスワン工舎羽田においても就労者が7名であり、過去最高6名（前年）を更新しており着実に実績をあげている。

### 3. 施設体制

〔新座〕

| 項目     | 期首  | 期末  | 差   | 適用          |
|--------|-----|-----|-----|-------------|
| 利用者(人) | 20  | 16  | -4  | 入16名、退20名   |
| 登録者(人) | 398 | 427 | +29 | 就業・生活支援センター |
| 職員(人)  | 20  | 20  | 0   | 入4名 退4名     |
| 車両(台)  | 6   | 6   | 0   | 移行4台、センター2台 |

〔羽田〕

| 項目     | 期首 | 期末 | 差  | 適用      |
|--------|----|----|----|---------|
| 利用者(人) | 12 | 10 | -2 | 入7名、退9名 |
| 職員(人)  | 8  | 7  | 0  |         |
| 車両(台)  | 2  | 2  | 0  |         |

### 4. 助成金、寄付金の状況

| 種別      | 拠出先・寄付者     | 金額(円)      | 用途              |
|---------|-------------|------------|-----------------|
| 補助金     | 新座市役所       | 1,877,000  | 障害者施設体制強化費      |
| 補助金     | 大田区役所       | 8,711,000  | 障害者日中活動系推進費     |
| 計       |             | 10,588,000 |                 |
| 種別      | 寄付者         | 金額(円)      | 用途              |
| 助成金・寄附金 | ヤマト福祉財団     | 801,514    | 卒業者の集い・カンパ-     |
| 助成金     | ヤマト福祉財団     | 4,000,000  | シューズクリーニング研究開発費 |
| 寄附金     | ヤマトホールディングス | 8,434,705  | 羽田の賃料等          |
| 計       |             | 13,236,219 |                 |

### 5. 移行支援事業

#### (1)サービス内容

- ①利用者が就労に向けた個別支援計画を策定し、四半期毎に目標の達成進捗を確認し、計画の見直しを行い、利用期限を意識して効果的な就労支援を推進した。
- ②ハローワークへの求職登録、地元就労支援センターへの登録、また関係機関との連携等を強化し、時機を得た就労支援に努めた。
- ③医療機関との連携で、心身の健康に関する助言を受けた。また定期健康診断、ストレスチェック（職員対象）やインフルエンザ、ノロウイルスの予防対策を実施し日常の健康維持に努めた。

- ④消防訓練を4月と10月に実施、また毎月の安全衛生会議での事例研究やヒヤリハットの共有等を通じて安全面の意識の高揚を図った。
- ⑤保護者との日常連絡や保護者会での意見交換を通じて相互の信頼関係向上に努めた。
- ⑥施設外研修として、新座ではTDL、羽田ではいちご狩り等（川崎）への電車などを利用した研修を実施した。
- ⑦新座市地域自立支援協議会にメンバーとして行動した。

(2)就労実績20名（目標17名）

| No | 就労日   | 就労先               | 施設 | No | 就労日   | 就労先               | 施設 |
|----|-------|-------------------|----|----|-------|-------------------|----|
| 1  | 05.01 | 穂高                | 新座 | 11 | 10.01 | ファスト・ファシテーズ・チャレンジ | 羽田 |
| 2  | 05.01 | がん研究会有明病院         | 羽田 | 12 | 11.01 | NTTデータサービス技術      | 新座 |
| 3  | 05.20 | ヨネザワ製菓            | 新座 | 13 | 11.01 | ビジネスプラス           | 羽田 |
| 4  | 06.01 | ヤマトコンタクトサービス      | 新座 | 14 | 11.19 | フジ産業              | 新座 |
| 5  | 07.01 | パーソナルサンクス         | 新座 | 15 | 12.01 | 東京あおば農業協同組合       | 新座 |
| 6  | 09.01 | ヤマトパッキングサービス      | 羽田 | 16 | 12.16 | スワン               | 羽田 |
| 7  | 09.16 | 蒲田リハビリテーション病院     | 羽田 | 17 | 01.01 | JR東日本パートナーズ       | 新座 |
| 8  | 10.01 | 商船三井ロジスティクス       | 新座 | 18 | 01.15 | 埼玉セントラル病院         | 新座 |
| 9  | 10.01 | マツモトキヨシ           | 新座 | 19 | 02.01 | ベイク・ド・ナチュレ        | 羽田 |
| 10 | 10.01 | ファスト・ファシテーズ・チャレンジ | 新座 | 20 | 02.18 | Geoビジネスサポート       | 新座 |

(3)事業活動の充実

- ①パン事業は、収入が2,316万（計画比93% 前年比94.3%）新規外販先として熊沢印刷様他4社を獲得した。ランドリー事業は、ヤマト運輸グループの制服類を中心に、親睦会のはっぴやユニフォーム、館内物流用制服等行っている。また外販先でスポーツクラブ（タオル等）や外食（かつや）の制服等も継続している。また、羽田では作業靴をターゲットとした事業モデルについて、ヤマト運輸の協力を得ながら検証中（ベースシューズ、ヘルメット）、今期より全国の各ベースを対象として、ヘルメット、ベースシューズは日々洗浄を行っている。収入が1,306万（計画比121.5% 前年比139.4%）
- ②スポーツプログラムでの体力向上に加えて、就労に必要な身だしなみ（化粧、髭剃り、洋服）等の講座を実施した。また、羽田ではランドリー事業において、ボランティアによる縫製の技術指導を受けている。

(4)事業収支状況

- ①事業収入は2施設合計で計画比93.1%、前年比103.6%、支出については計画比119.6%、前年比100.2%、事業収支は-848万円で計画差-1151万円、前年比43万減となった。大きな要因としてランドリー（新座）の下期収入が前年比85.4%と金額差▲254万であった。

(単位千円)

|       | 収入     |        |       | 支出     |        |       | 収支差額   |        |         |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|
|       | 計画     | 実績     | 計画比   | 計画     | 実績     | 計画比   | 計画     | 実績     | 計画差     |
| 新座パン  | 24,880 | 23,159 | 93.1  | 22,100 | 29,615 | 134.0 | 2,780  | -6,456 | -9,236  |
| 新座フドリ | 10,950 | 8,558  | 78.1  | 5,930  | 8,653  | 68.5  | 5,020  | -95    | -5,115  |
| 羽田フドリ | 11,730 | 13,065 | 111.4 | 16,500 | 15,002 | 90.9  | -4,770 | -1,937 | 2,833   |
| 事業計   | 47,560 | 44,782 | 94.1  | 44,530 | 53,270 | 119.6 | 3,030  | -8,488 | -11,518 |

## ② 工賃支給額

作業時間を基本に作業内容を勘案し、羽田も含めて一人月間平均 29,665 円を支給。

## 6. 就労定着支援事業

### (1) サービス内容

- ①利用者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等の連絡調整やそれに伴い問題解決に向けて必要となる助言等の支援を行った。
- ②利用者に来所してもらい利用者同士の意見交換会等も開催して年代を超えたつながりを持った。(各イベントも開催：納会、初詣)

### 利用契約者実績

| 施設 | 対象者数 | 契約者数 | 契約率   |
|----|------|------|-------|
| 新座 | 24   | 20   | 83.3% |
| 羽田 | 9    | 9    | 100%  |
| 計  | 33   | 29   | 87.8% |

※定着支援利用期間：就労して6ヶ月経過後から3年間（就労後6ヶ月間は就労移行事業での支援）

## 7. 就業・生活支援センター

(1)就業・生活支援センターの支援は、登録者、実習者、就業者の目標達成に努めた。

|      | 計画目標 | 実績 | 計画比 |
|------|------|----|-----|
| 登録者  | 24   | 29 | +5  |
| 就業者  | 23   | 38 | +15 |
| 実習件数 | 33   | 59 | +26 |

※就業者の内訳:スワン工舎登録者6名、外部登録者27名

(2)支援機関との連携をもとに就労移行支援事業との相乗効果を意識して活動を推進した

## 8. 職員の育成

- (1)職員会議(日次、月次)を通して、全員で情報を共有し利用者支援の徹底を行った。
- (2)職員研修等への積極的参加でスキルアップを推進した。

### ① 研修参加

就業支援基礎研修 (1名)、ジョブサポーター初級研修 (1名)、ジョブサポーター中級研修 (1名)、就業支援担当者研修 (1名)、就労定着支援セミナー(1名)、都サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修(1名)、障害者虐待防止・権利擁護研修 (1名)、都公害防止管理者研修 (1名)、就労パスポート支援機関向け研修 (2名) 障がい者の働く場パワーアップフォーラム (4名)

## 9. 実習生受入

### (1)研修生 6名

立教大学 4名 東海大学 1名 大正大学 1名

### (2)通所希望者 63名

各支援学校生徒 46名、在宅 14名、その他 3名

### (3)その他 12名

B型アセスメント 7名、体験実習 5名

## 10. その他

### (1)地域との交流

#### ① 祭り、バザー等のイベントへの参加を行った。

県障害者交流センター、こころの健康フェスティバル、新座5中文化祭、柿の木幼稚園盆踊り、ふれあいピック等全19回

### (2)卒業者のネットワーク構築

#### ① 第12回卒業者の集いを2月に開催(117名参加)し、保護者を含めた交流により、継続的な関係構築を図った。

#### ② 定期的に卒業者との交流会（を開催した）。

### (3)就業・生活支援センター

#### ① 関係機関との情報交換会を年7回開催した。

#### ②登録者との交流会を年5回開催した。

#### ③就労移行施設合同就職説明会を開催した。

以上